

放課後の過ごし方等に関する調査

【中学校育成学級用】

結果報告書

(放デイ該当箇所のみ抜粋)

令和 6 年 6 月

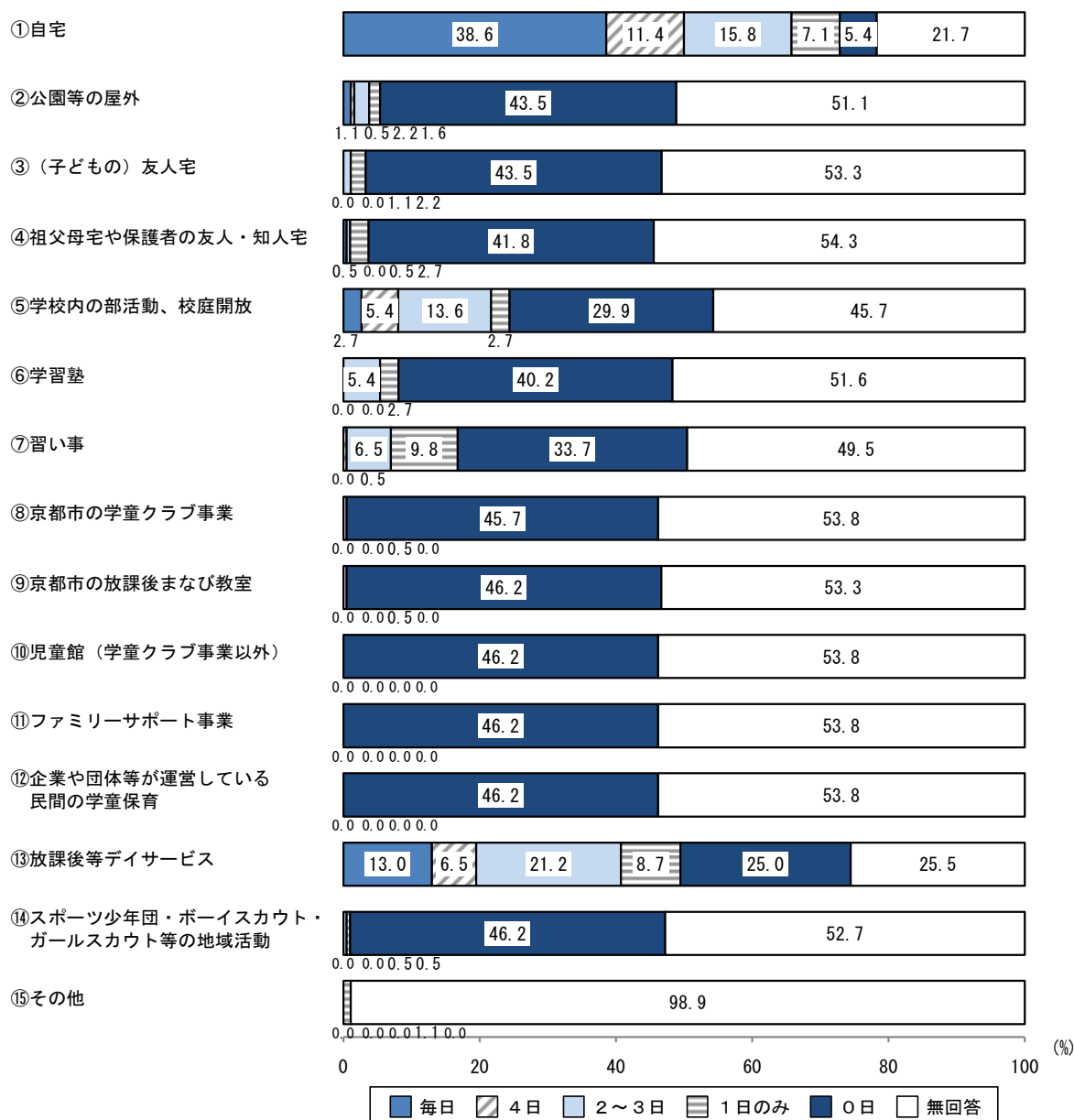
京都市

5. 放課後の時間の過ごし方

問5 (1) お子さまは、平日の1週間、放課後の時間をどのように過ごしていますか。
(○はそれぞれ1つつ)

【図1-5 放課後の時間の過ごし方】

(n=184)

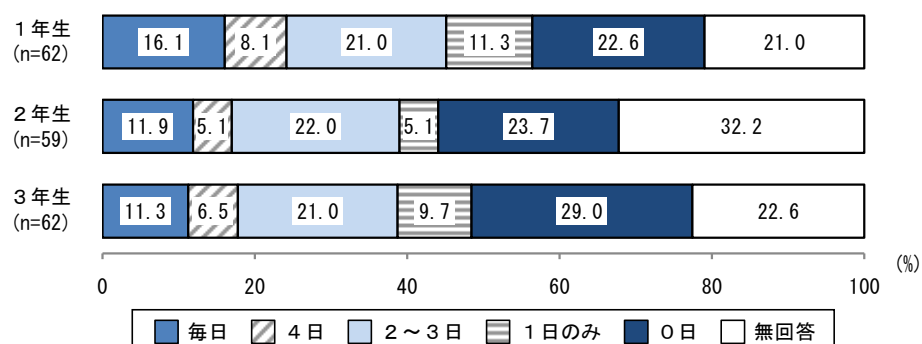


放課後の時間の過ごし方について、〔①自宅〕は「毎日」が38.6%と最も多く、次いで「2～3日」が15.8%、「4日」が11.4%となっています。〔⑤学校内の部活動、校庭開放〕は「2～3日」が13.6%、〔⑥学習塾〕は「2～3日」が5.4%、〔⑦習い事〕は「1日のみ」が9.8%となっています。〔⑬放課後等デイサービス〕は、「2～3日」が21.2%、「毎日」が13.0%となっています。(図1-5)

③放課後等デイサービス

□学年別

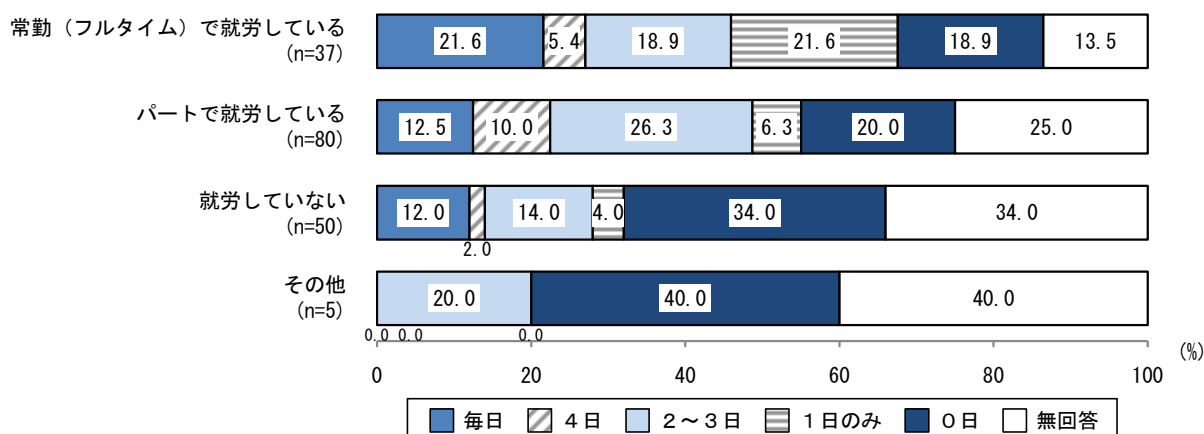
【図 1-5③-1 学年別 放課後の時間の過ごし方(放課後等デイサービス)】



放課後等デイサービスを学年別にみると、いずれの学年も「0日」が多くなっています。利用している人では、いずれの学年も「2～3日」が最も多くなっています。(図 1-5③-1)

□母親の就労状況別

【図 1-5③-2 母親の就労状況別 放課後の時間の過ごし方(放課後等デイサービス)】



母親の就労状況別にみると、“常勤（フルタイム）で就労している”は「毎日」と「1日のみ」が、“パートで就労している”は「2～3日」が、“就労していない”は「0日」が、それぞれ最も多くなっています。

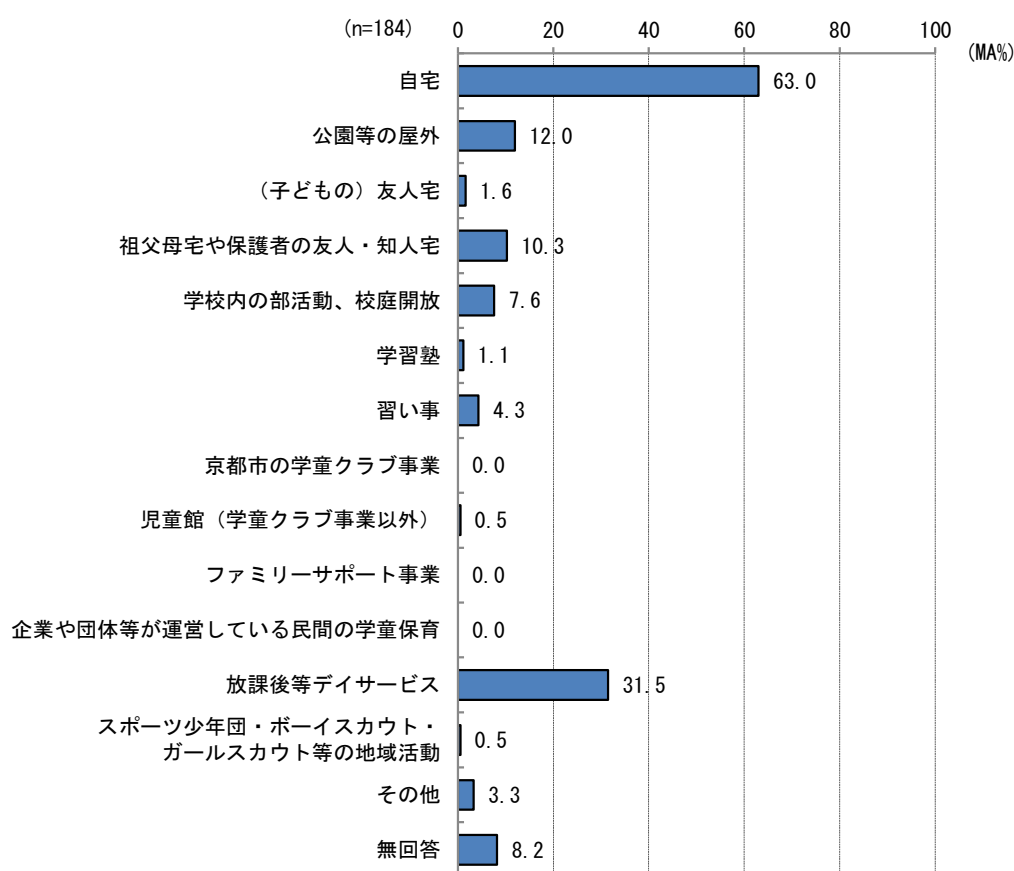
2 お子さまの居場所・遊び場について

1. 土日祝日・長期休業時に過ごす場所

問6 お子さまは、土日祝日、長期休業（夏休み・冬休みなど）を、それぞれどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号を記入してください。（複数回答可）

①土曜日に過ごす場所

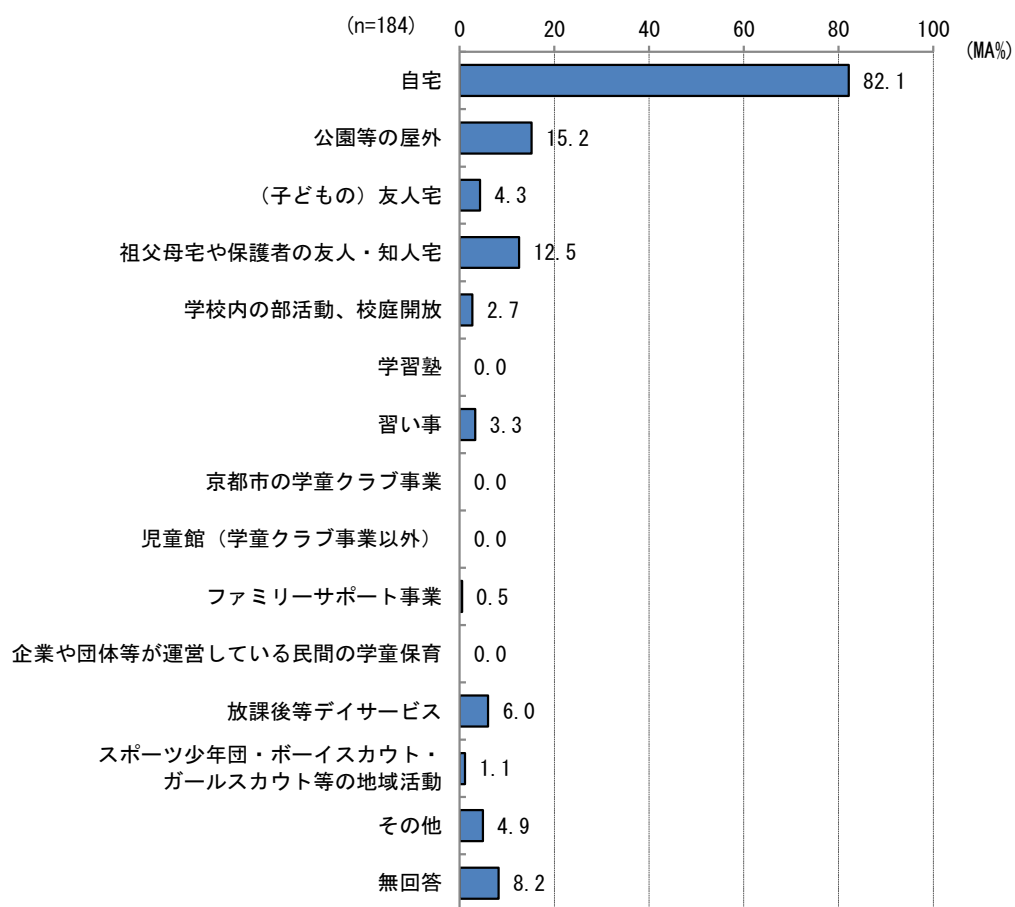
【図2-1① 土曜日に過ごす場所】



土曜日に過ごす場所は、「自宅」が63.0%と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が31.5%、「公園等の屋外」が12.0%、「祖父母宅や保護者の友人・知人宅」が10.3%となっています。（図2-1①）

②日曜・祝日に過ごす場所

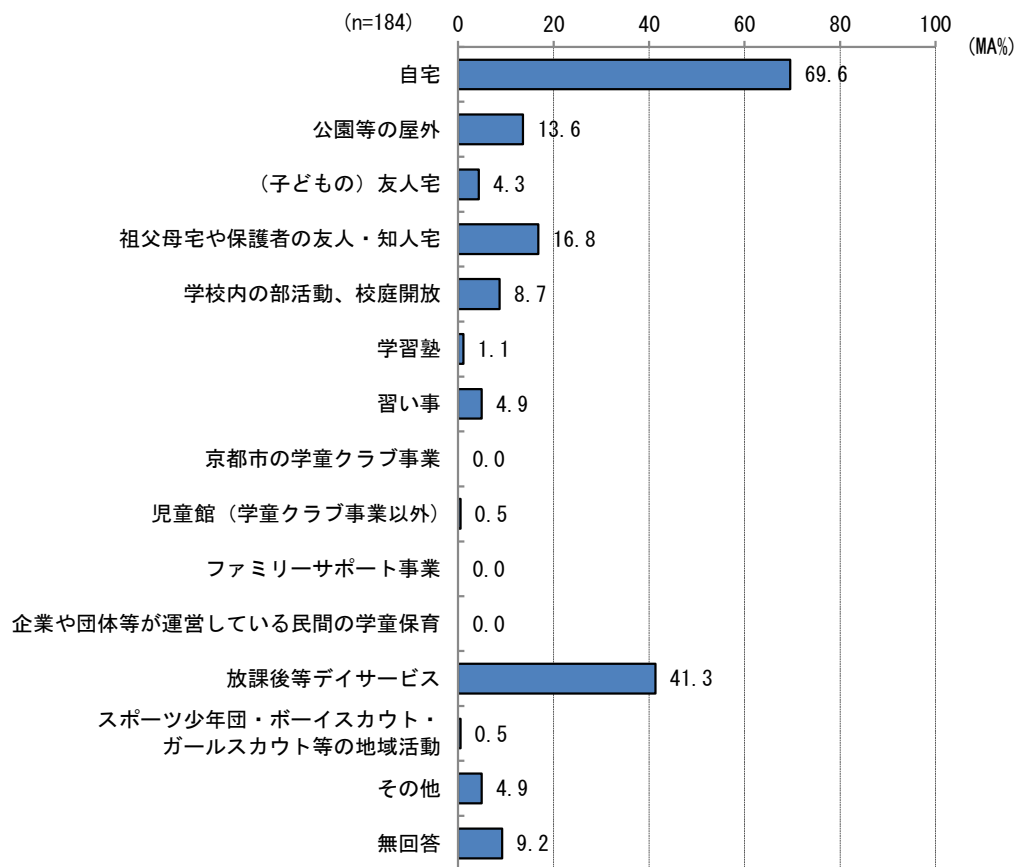
【図2-1② 日曜・祝日に過ごす場所】



日曜・祝日に過ごす場所は、「自宅」が 82.1%と最も多く、次いで「公園等の屋外」が 15.2%、「祖父母宅や保護者の友人・知人宅」が 12.5%となっています。（図 2-1②）

③長期休業中に過ごす場所

【図2-1③ 長期休業中に過ごす場所】



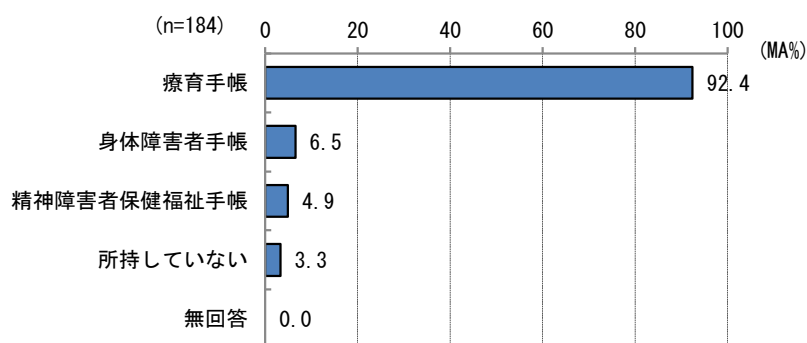
長期休業中に過ごす場所は、「自宅」が 69.6%と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が 41.3%、「祖父母宅や保護者の友人・知人宅」が 16.8%、「公園等の屋外」が 13.6%となっています。（図 2-1③）

4 放課後等デイサービスについて

1. 子どもの手帳所持状況

問9(1) お子さまの手帳所持状況について、該当するものをご回答ください。(複数回答可)

【図4-1 子どもの手帳所持状況】

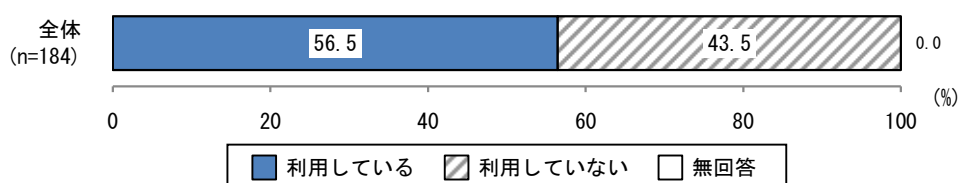


子どもの手帳所持状況は、「療育手帳」が92.4%、「身体障害者手帳」が6.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が4.9%、「所持していない」が3.3%となっています。(図4-1)

2. 放課後等デイサービスの利用有無

問9(2) お子さまは、現在、放課後等デイサービスを利用していますか。(○を1つ)

【図4-2 放課後等デイサービスの利用有無】



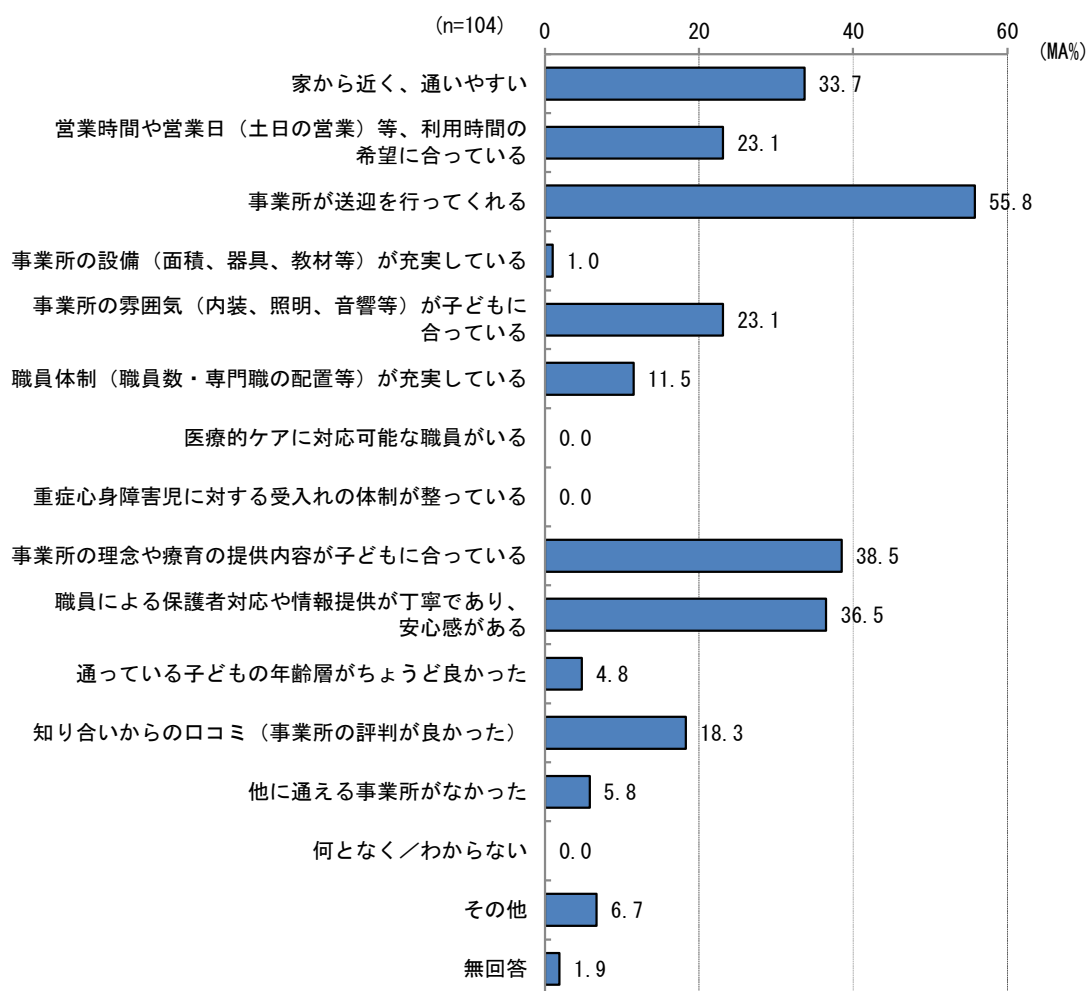
放課後等デイサービスの利用有無は、「利用している」が56.5%、「利用していない」が43.5%となっています。(図4-2)

3. 現在通っている事業所を選んだ理由

【問9(2)で1. を選んだ方にお聞きします。】

問9(3) 現在通っている事業所を選んだ理由をご回答ください。(〇は3つまで)

【図4-3 現在通っている事業所を選んだ理由】



現在通っている事業所を選んだ理由は、「事業所が送迎を行ってくれる」が55.8%と最も多く、次いで「事業所の理念や療育の提供内容が子どもに合っている」が38.5%、「職員による保護者対応や情報提供が丁寧であり、安心感がある」が36.5%、「家から近く、通いやすい」が33.7%となっています。（図4-3）

□母親の就労状況別

【表4-3-1 母親の就労状況別 現在通っている事業所を選んだ理由】

(%)

	n	家から近く、通いやすい	営業時間や営業日（土日を含む）等、利用時間の希望に合っている	事業所が送迎を行ってくれる	事業所の設備（面積、器具、教材等）が充実している	事業所の雰囲気（内装、照明、音響等）が子どもに合っている	職員体制（職員数・専門職の配置等）が充実している	医療的ケアに対応可能な職員がいる	重症心身障害児に対する受入れの体制が整っている	事業所の理念や療育の提供内容が子どもに合っている	職員による保護者対応や情報提供が丁寧であり、安心感がある	通っている子どもの年齢層がちょうど良かった	知り合いからの口コミ（事業所の評判が良かった）	他に通える事業所がなかった	何となく／わからない	その他	無回答
常勤（フルタイム）で就労している	27	29.6	18.5	70.4	0.0	29.6	18.5	0.0	0.0	29.6	25.9	7.4	22.2	7.4	0.0	7.4	0.0
パートで就労している	49	28.6	32.7	59.2	2.0	20.4	6.1	0.0	0.0	40.8	42.9	6.1	18.4	6.1	0.0	4.1	2.0
就労していない	21	57.1	0.0	42.9	0.0	19.0	9.5	0.0	0.0	47.6	28.6	0.0	19.0	4.8	0.0	4.8	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

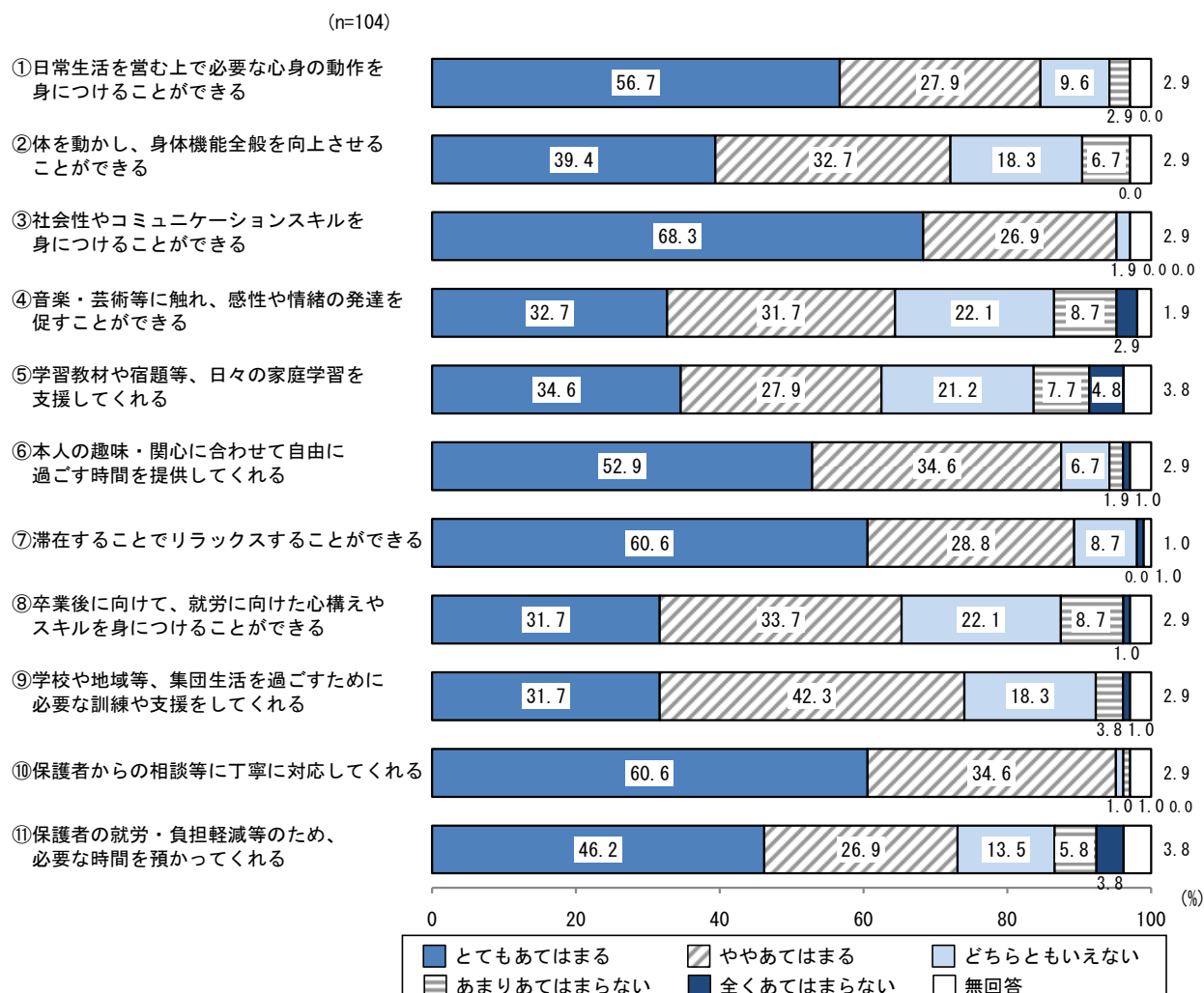
母親の就労状況別にみると、“常勤（フルタイム）で勤務している”と“パートタイムで勤務している”は「事業所が送迎を行ってくれる」が、“就労していない”では「家から近く、通いやすい」が、それぞれ最も多くなっています。（表 4-3-1）

4. 放課後等デイサービスに求める要素

【問 9 (2) で 1. を選んだ方にお聞きします。】

問 9 (4) 放課後等デイサービスを利用するうえで、求める要素についてご回答ください。
(○はそれぞれ 1 つずつ)

【図4-4 放課後等デイサービスを利用するうえで求める要素】



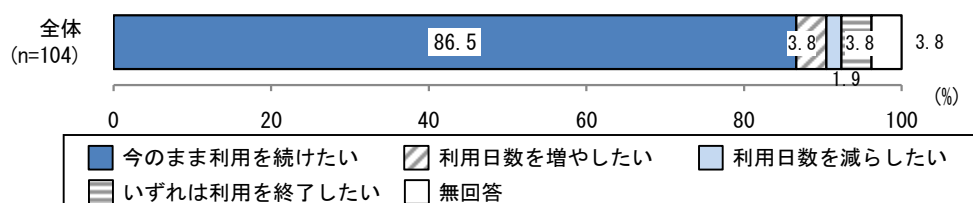
放課後等デイサービスを利用するうえで求める要素について、「とてもあてはまる」割合が多いのは、〔③社会性やコミュニケーションスキルを身につけることができる〕(68.3%)、〔⑦滞在することでリラックスすることができる〕(60.6%)、〔⑩保護者からの相談等に丁寧に対応してくれる〕(60.6%)、〔①日常生活を営む上で必要な心身の動作を身につけることができる〕(56.7%)、〔⑥本人の趣味・関心に合わせて自由に過ごす時間を提供してくれる〕(52.9%)となっています。(図 4-4)

5. 放課後等デイサービスの今後の利用意向

【問 9 (2) で 1. を選んだ方にお聞きします。】

問 9 (5) 放課後等デイサービスの今後の利用意向についてご回答ください。(○は1つ)

【図4-5 放課後等デイサービスの今後の利用意向】



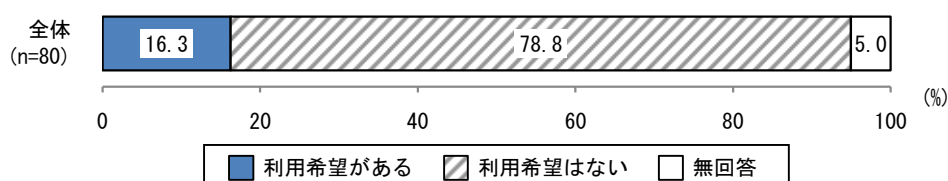
放課後等デイサービスを現在利用している方の今後の利用意向は、「今のまま利用を続けたい」が 86.5%と最も多く、次いで「利用日数を増やしたい」、「いずれは利用を終了したい」がそれぞれ 3.8%となっています。(図 4-5)

6. 放課後等デイサービスの利用希望

【問 9 (2) で 2. を選んだ方にお聞きします。】

問 9 (6) 放課後等デイサービスの利用希望はありますか。(○は1つ)

【図4-6 放課後等デイサービスの今後の利用希望】



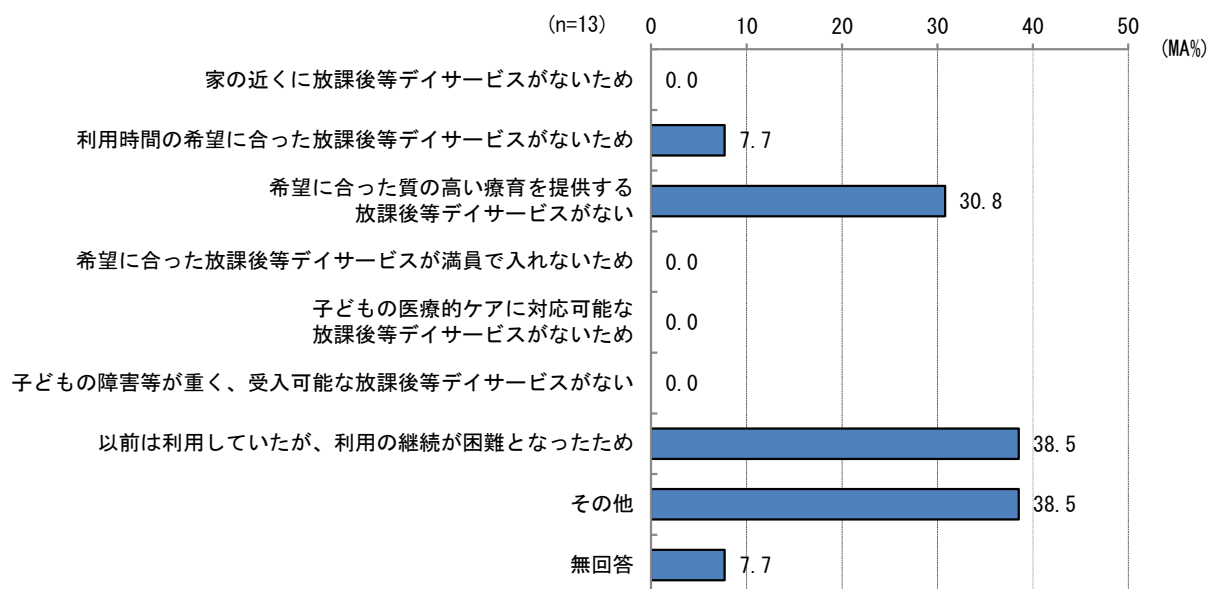
放課後等デイサービスを現在利用していない方の利用希望は、「利用希望がある」が 16.3%、「利用希望はない」が 78.8%となっています。(図 4-6)

7. 利用希望はあるが、現在放課後等デイサービスを利用していない理由

【問 9 (6) で 1. を選んだ方にお聞きします。】

問 9 (7) 放課後等デイサービスを利用していない理由についてご回答ください。(複数回答可)

【図4-7 利用希望はあるが、現在放課後等デイサービスを利用していない理由】



利用希望はあるが、現在放課後等デイサービスを利用していない理由は、「以前は利用していたが、利用の継続が困難となったため」が 38.5%と最も多く、次いで「希望に合った質の高い療育を提供する放課後等デイサービスがない」が 30.8%となっています。また「その他」には『本人が希望していない』という意見が挙がっています。(図 4-7)